

館 報

お み

8月号
No.713

2026. 8.25 (令和8年) 編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲聖湖の上空に大輪の華が咲く～第62回聖高原納涼煙火大会～（8月14日撮影）関連記事4面

令和八年度 二十歳の集い



▲二十歳の集いに出席された皆さん

二十歳を 迎えた皆さん

飯森 横（山 寺）
石川 心葉（埼玉県）
稲垣ハスナ（松本市）
植原 啓太（筑北村）
加久保遼平（中 町）
カンポスカスタ
ニエーダ紗智（本町）
久保田秀昭（神奈川県）
小島 光希（天王）
佐藤 隆星（天王）
薄田 陸（本 町）
鈴木 梨菜（天王）
高野萌々栳（高 一）
塚原 理華（松本市）
塚原 玲樹（野田沢）
寺沢 謙吾（中 町）
三浦功太郎（高 一）
三浦 千夏（高 一）
峯村 彩花（下井堀）
宮沢 悠平（筑北村）
柳澤 颯人（神奈川県）
山崎 琴彩（池田町）
山田 諒（筑北村）
（敬称略・五十音順・写真と名簿の順番は異なります）

令和八年度に二十歳を迎える皆さんをお祝いする「二十歳の集い」を八月十五日に地域交流センターで開催しました。

対象は、平成十八年四月二日から平成十九年四月一日までに生まれた二十二人で、十七人が出席されました。

式典は、塚原村長から式辞、来賓を代表して清水村議会議長から祝辞があり、続いて平野麻績駐在所長と村保健師から二十歳の皆さんへ講話がありました。

対して二十歳代表として石川心葉さんによる答辞があり、自分の行動や考えに責任が持てるよう努力していきたいと抱負をのべました。



▲石川心葉さんによる答辞



▲そろって「ピース！」

祝賀会は、恩師の方々が三人参加され、当時の思い出を話されました。麻績小学校で三、四年生の担任をされた柄澤美保先生からは、大切に世話をしていたウサギと「麻績かるた」を作ったお話、続いて同学校で五、六年生の担任をされた鳥海康先生からは、昔埋めたタイムカプセルを祝賀会が終了した後に掘り出そうという話がありました。筑北中学校で担任をされた丸山優子先生からは、新型コロナウイルス明けの時期の修学旅行は特別コースで、山梨県や南木曽町役場へ行ったお話がありました。二十歳の皆さんは懐かしさに歓声をあげていました。

二十歳の集いアンケート結果（抜粋）

- * 回答者 17人
- * 現在の住所 村内6人 村外で県内4人 県外7人
- * 職種 学生11人 会社員・公務員5人 その他1人
- * 今回の二十歳の集いはどうでしたか？
良かった7人 普通2人 つまらない0人 未回答8人
- * 麻績村が好き（好きな理由） 好き13人 嫌い0人 わからない3人 未回答1人
自然が豊か/癒される/空気がおいしい/故郷だから/涼しい/
景色・気候・人すべてが最強
(わからない理由) 住んでいないから/特に理由はない
- * 将来、麻績村に住みたいですか？
住みたい3人 住みたくない2人 わからない11人 未回答1人
(住みたい理由) 自然が良い/麻績村を出て良さがわかった
(わからない理由) 将来のことなので/今の場所で満足/まだ決めていない/
車が無いと不便/いろいろ遠い
- * 麻績村に必要なものは？（複数回答）
職場2人/娯楽施設4人（遊園地、温泉、ゲームセンター）/
誇れる特産物3人/便利な交通機関5人/病院1人/美容室1人/
物件1人/村民が自由に使えるグラウンド1人/子育て支援と広報
- * もし、自分が村長だったら何をしたいですか？
村を良くしたい/美容系のお店のあつせん/ディズニーつくります/
りんごを全国にひろめる/村長にならない/コンパクトな再開発/
若者が住める家を建てる/筑北村との交流/もっとのどかにする
- * あなたが考える「大人」とは、どういう人でしょうか？
自分で決めることができる人/責任がもてる人/自ら成長できる人/
善悪の判断ができる人/自由にできる人/人を大切にできる人/
自己管理ができる人/とらわれない人/自己調節ができる人/
問いを自ら立てられる人/自立できる人
- * その他何でも 楽しかった/おみ大好きです/これてよかったです

祝賀会終了後、タイムカプセルを探すため、皆で記憶している場所をスコップ



▲タイムカプセルはどこに…

掘り進めたのですが、残念ながら、見つけることができませんでした。しかしながら、楽しい思い出になったようです。
二十歳の皆さんの思いを知るため、アンケートをとらせていただきました。結果（抜粋）は、左記のとおりです。現在は、学生や社会人となりましたが、将来は麻績村でご活躍されることを心より願っています。



▲恩師と一緒に記念撮影



M・エンデの名作「モモ」が、邦訳五十年を迎えたという。
主人公モモは力も財産も何も持たないが、人の話を真摯に聞く才能がある少女だ。

人はモモと話すうちに心が晴れ、自然に問題が解決していた。ところが、人々は時間に追われ、心のゆとりを無くし、感性も鈍くなっていく。誰もモモと話さなくなる。

「時短」とか「倍速」とか「タイムパフォーマンズ」という言葉が頭をよぎる。物語はファンタジーなので「時間どろぼう」という悪役を打ち破ることで、人は心を取り戻す。では、現実世界では？

「夜長」といわれる季節になった。もう一度「モモ」を読み返してみようか、ページを繰り、時々戻ったりしながら文字を追う。行間から新しい発見があるかもしれない。

「夜長」といわれる季節になった。もう一度「モモ」を読み返してみようか、ページを繰り、時々戻ったりしながら文字を追う。行間から新しい発見があるかもしれない。

聖高原納涼煙火大会

第六十二回聖高原納涼煙火大会が、八月十四日に聖湖畔で開催されました。

村政七十周年を記念して平成七年度以来となる十号玉七発の打ち上げがあり、天候も味方してくれ、花火が打ちあがるたびに多くの皆さんから歓声があがっていました。

(写真は一面を参照)

麻績神明宮祇園祭

令和八年度麻績神明宮祇園祭が七月二十六日に執り行われました。

開始時には雨が降っていましたが、いつしか止み、ダンスなどの団体が会場を盛り上げていました。



▲浦安の舞 (神楽殿)

また本殿と拝殿での神事、そして神楽殿において、浦安の舞が舞姫二人により奉納されていました。

クラブ・サークル紹介

麻績神明宮祇園祭にも参加したマジック・南京玉すだれサークルの活動について紹介します。

マジック・南京玉すだれサークル

現在七名のクラブ員がいて、主に福祉センターで、発表前には交流センターでマジックと南京たますだれを交互に練習しています。

マジックは、それぞれが自分の得意技を極めたり、新しい技に挑戦したりしています。玉すだれは、全員でおはやしに合わせて練習し、新しい技も工夫しています。

おさんぽカフェ、みづきから出演依頼があると、出向いて練習の成果を見て喜んでいただいています。また毎年、麻績神明宮の祇園祭の舞台でも披露させています。

ただいています。

練習日は不定期で平日の午後二時からクラブ員の都合に合わせて計画しています。出演依頼が入ると練習の回数も増え、張り切って練習しています。

認知症の予防にもなりますので、興味のある方は声がけしてください。



▲花ができました！

日向ふるさとまつり

第四十一回日向ふるさとまつりが八月十一日、テレワークセンターで開催され、バンド「With」のコンサートや素人のど自慢大会が行われました。

のど自慢大会では、高得点が出るたび盛り上がっていました。

サマーナイトフェスティバル

第三十七回サマーナイトフェスティバルが八月二日に麻績村役場前駐車場で開催されました。

今年度は小中学生が活躍し、ステージでは、麻績小の金管バンド、麻績小二年生、麻績小ダンスクラブに加えて麻績小六年生はテントでクラフトを出店していました。筑北中は吹奏楽部、筑中ソーランと菊池千夏さんのダンス、さらに公民館クラブの「STELLA」のダンスと、小中学生が大活躍するお祭りとなりました。



▲「With」の演奏



▲麻績小学校六年生の出展



▲「STELLA」のダンス



▲麻績小学校二年生のステージ

麻績の神社と 薙鎌信仰について

(その十九)

薙鎌の形について

諏訪大社が頒布しているパンフレットに「…雨や風・水の守り神として竜神の信仰も古く…」とある。

竜が男神で水を司り、鳳凰が女神で風を司るという説がある。

古来中国の麒麟・亀ともに神霊視される想像上の動物四端のひとつ。

竜は雲を起こして雨を呼ぶといわれている。この鳳凰や竜を薙鎌として鍛冶屋で作るのには、技術と時間と経費がかかる。

諏訪大社で授与している現在の薙鎌は、鳥型であるが、威儀のため、下から見上げさせようとして、このような形になったのではないかとという。

各地の神社（分社）に伝わる近世以前の古い薙鎌は、所在地の鍛冶屋などで作られたものであり、形と大き



▲明治17年5月15日 諏訪大社より薙鎌が
付与された市野川神社の奥社

さは多様である。

主な形に、鳥・竜・蛇・トカゲ・タツノオトシゴ・芋虫・魚・サンマ・直角・胎児などがあるという。

草刈り鎌・刈払鎌（カットパライ鎌）を祀っている神社もある。

日向神社の薙鎌は、諏訪大社で授与している鳥型である。天文期以前と伝わる残欠薙鎌の原形は、タツノオトシゴ形と推察されるという。

筑北村坂井・安坂神社の薙鎌は鍛冶師の銘があり、タツノオトシゴ形だという。

薙鎌の祀り方について

薙鎌は、諏訪大明神の表

象で、諏訪大社及び分社のみで祀る神器である。

分社では、通常神職はじめ氏子の代表（神社総代）が祭祀料を持って大社に参上し、授与を受けるのが通常ですが、大社宮司が持参し、神殿で奉獻する神社も稀にあるという。

諏訪大社上社では、御柱祭の前年、御用木に薙鎌を打ち込む「おね鎌打ち」の神事が行われるが、盗難の恐れがあるので伐採前に抜くという。

下社では、秋宮から春宮へ遷座祭の行列の威容を整えるため、二挺の薙鎌を祀るという。

授与を受けた神社（分社）での祀り方は、種々様々で次のような神事がある。

一、御柱祭を行っている神社では、御用木に前年に打つ・建御柱後に御柱に打つ

二、祭典の行列の威厳を高める威儀具として

三、社殿に奉安し、後日宝物として宝蔵に納める

四、諏訪の神の依代として

境内の御神木に打つ

五、国境・村境や山林の争いに境木に打つ

六、神聖な場所であることを示す神域に祀る

七、風雨鎮護（災害避け）の祭に

八、願懸の御礼として奉納

異例は、佐久市の新海三社神社の御射山祭りでは、宮司が拘っている御神体は、四〇cmから五〇cmの薙鎌三枚を重ね、薄いピンクの十二単を纏っており、ご神体は女神であると認識されている。

いる。

御神体の薙鎌三枚を重ねることについては、皇位の三つの宝物三種の神器をはじめ、投鎌三口・風切鎌三枚・鉄鐸三組・薙鎌三挺・口・などの表現があり、神宝とのかかわりがうかがえる。

日向神社では、本殿に奉安後宝蔵に納めている。

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



▲矢倉諏訪神社の薙鎌

本の森だより

おみ 図書館

追悼 東野圭吾さん

現代日本最高のミステリー作家のひとり東野圭吾さんが、七月に亡くなられました。

麻績村でも大変人気が高く、シリーズの続きを楽しみにされている方も多い小説家でした。

たくさんの素晴らしい作品を届けてくれた、東野さんに感謝と敬意をこめて、追悼コーナーを設けました。八月いっぱい展示でしたが、作品はいつでもお借りいただけます。

これまで未読だった方も、



▲映像化作品も多数あります

シリーズを追いかけてきた方も、この機会にぜひ読んでいただきたいです。

八月に刊行されたガリレオシリーズ最新刊もご用意しております。

「永遠の記憶」



文藝春秋

「つながる おみごと」

利用者の皆さんがおすすめの本を紹介し合う掲示板コーナーができました。

第一回目のテーマは、

「この夏いちばんおもしろかった本」です。「この本すごく感動した」「誰かに読んで欲しい」そんなとっておきの一冊の、本のタイトルやおすすめのポイントを付箋に書いて、ぜひ教えてください。

皆さんから寄せられた本

前月の図書館

来館者数 342人
貸出冊数 735冊
ご来館ありがとうございます。

佐藤正午 著 KADOKAWA
「かがみの孤城」
辻村深月 著 ポプラ社

伊与原新著 文藝春秋
「熟柿」

「コズミック・ガール 宙わたる教室」

芦沢央 著 新潮社
《紹介された本の一部》
「火のないところに煙は」

の紹介を見て、今まで知らなかった本や新しいお気に入りの一冊に出会えるかもしれません。図書館に越しの際は掲示板をのぞいてみてください。



▲イラスト付きで紹介

麻績小学校図書館便り

選書会、開催！

最近出版された話題の本を紹介してもらい、自分で本を選ぶことができる！と昨年度も好評だったお話し会・選書会を、今年度も行いました。

講師は「ちいさいおうち書店」の越高一夫さん。

三・四年生には、「あてっこどうぶつずかん だれ」「ねこのはなびや」「みるなのくら」を、五・六年生には「虫のうらがわ図鑑」「夏が来た」を紹介していただきました。

クイズ形式で、楽しみながら動物の生態や年中行事について学ぶことができました。



▲詳しく知りたい人は図鑑がいいよ

また、高学年の歴史好きな子に向けて「白狐魔記 源平の風」を紹介していただきました。

人間の生きざまに興味を示した一匹の狐が仙人の元で修行をし、人間に化けることが出来るようになった。この狐が、源平の戦いに巻き込まれ：と、ハラハラドキドキの歴史大河ファンタジーです。

ぜひ、読んでみてください。その後行った選書会では、一人一冊ずつ図書館に入れて欲しい本を選びました。図書館職員が館内にある本が調べて検討し購入した本は、随時並べていきます。お楽しみに！



▲どの本にしようかな～

元氣通信!!

今月の小・中学校

麻績小学校

麻績小学校では、七月四日、土曜参観日にあわせて「学校保健委員会・PTA学習会」が開催されました。多くの保護者の皆様にご参加いただきました。当日の様子をご報告いたします。

「メディア見直し週間標語表彰式」：今回、麻績小学校児童会「健康委員会」では、PTAとのコラボ企画により、親子で一緒にメディアについての標語を作成し、メディア見直し週間を



▲PTAから標語の表彰

実施しました。その標語の表彰式を土曜参観日に合わせて実施し親子で楽しみました。



▲正しい姿勢とは

最優秀賞「マイルール スマホを入れぬ マイルール」

健康委員会賞「寝るときはメディアは見ずに夢みよう」ほか五フレーズ

PTA会賞「ゲームをやめて かぞくでたのしく そとであそぼう」ほか十一フレーズ

宮川和司さん賞（メディア見直し週間での講師）「のうみそが バクハツしちゃう きをつけよう」

講演会「自分史上、最高

のカラダを創る！」生活習慣姿勢スタイリストの阪上晃子氏をお招きし、親子で正しい姿勢について学びました。

保護者の皆様からの感想

（アンケートより）

●姿勢を整えることで、いいことがたくさん起こるなんて素敵だなと思いました！何がいい姿勢なのかを知ることができ、講演会の中で繰り返し体験できたことで、しっかりとインプットできたので、これからの日々が続いていきたいです！

●姿勢といっても、奥が深く、知れば知るほど、なるほど！となりました。

なかなか新しいスキルを学ぶ場や新しい考え方を受け取りにくい方もいる時代の中で、このような場があるからこそ学べることであり、知ることができて良かったなあ、ラッキーだなあ、と感じています。座学も良いですが、親子で一緒に学べる体験型も良いなと思いました。楽しい時間をありがとうございました。

筑北中学校

長野県吹奏楽コンクール 中信地区大会

二年 菊池 結菜

●姿勢について子どもに對しての声掛けの仕方を変えてみようと思えるよいきっかけとなりました。ありがとうございました。

私たちは筑北中学校吹奏楽部は、七月二十日におこなわれた長野県吹奏楽コンクール中信地区大会A部門に、聖南中学校、生坂中学校との三校合同で出場しました。

私は去年、初めてのコンクールに出場しました。その時は、まだ自分の楽器にあまり慣れておらず、とても緊張していたことを覚えています。しかし今年は、

去年よりも技術が向上したと感じていたので、自信を持って本番に臨むことができました、とてもワクワクしていました。

コンクールでは、自分の自信やこれまで積み重ねてきた努力を発揮することができたと思います。普段と



▲楽しみながらの演奏

は違う会場で演奏したため、テンポがズレてしまったり、音を外してしまったりする場面もありました。それでも、最後まで諦めずに演奏しました、自分自身も音楽を楽しみながら演奏することができたので、とても良かったです。

職場体験

二年 伊藤 愛莉

私は七月二十三日、二十四日にユニクロあづみの穂高店で職場体験をしました。

最初はとても不安でしたが、店長さんや従業員さんに仕事のやり方を教えていただき、体験をしていくう

ちに、その不安も少しずつなくなっていました。

職場体験では、普段は入ることのできないバックヤードでの仕事や、売り場での品出しなど、さまざまな業務を体験できました。また、分からないことがあった時は、そのままにせず積極的に質問することを心がけて行いました。

今回の体験を通して、仕事をすることや働くことのやりがいなどを学ぶことができました。とても良い経験になったので、職場体験で学んだことをこれからの学校生活や日常生活にも活かしていきたいです。



▲ユニクロあづみの穂高店にて



第四回おみっこミュージックフェスティバル

四回目となります麻績保育園、麻績小学校、筑北中学校の合同音楽会、「おみっこミュージックフェスティバル」を開催いたします。麻績村の子どもたちが一堂に会し、音楽に親しむ一日となります。子どもたちの音楽学習の成果をぜひご鑑賞ください。

日時

十月十六日（金）

開場…八時三十分

開演…九時

終了…十一時四十分予定

場所

麻績小学校 体育館

地域の皆様もこの機会にお出かけください。詳細などについて、ご不明な点が



▲昨年度の様子

ございましたら、各校・園にお問い合わせください。

分館・団体別リレー参加チーム募集

村民運動会を十月十八日（日）に村総合運動場で開催します。

分館・団体別リレーに出場していただける出場チームを募集します。障害物競走をしながら、ユニークな服装で盛り上げていただける方々をお待ちしています。

麻績村にお住まい、または勤務されている方で五人一組のチームを編成して、九月二十八日（月）までに公民館（☎六七一・二二四〇）へご連絡ください。

特設行政相談所の開設

「特設行政相談所」を次の時間と場所で開設いたします。

日時

九月十三日（日）

午前十時から正午まで

場所

村役場二階 会議室

「行政相談は国や地方公共団体の仕事やサービスに関する意見や要望、苦情を受け付け、解決をサポートする仕組みで、麻績村では不定期で相談所を開設しています。

相談は無料で、秘密は固く守られます。どうぞお気軽にご利用ください。

お問い合わせ先

村役場総務課

行政相談事務局

（☎六七・四八五〇）

おみっこキャンプ

おみっこ元気くらぶの麻績キャンプ二〇二六を八月七日から八日まで、聖高原キャンプ場で開催しました。

今年度は麻績小児童に加え、筑北中学校生徒も合わせて三十人が参加し、信州大学教育学部のYOU遊未来（チャンス）の皆さんと「叩き染め」や夕食作りなどを一緒にを行い、楽しく親睦を深めました。



▲ハンマーで「叩き染め」

村のあそび

ご冥福を祈る

吉野 仰	80歳	野口
飯森美恵子	96歳	丸山
丸山 克明	87歳	丸山
江森 富衛	100歳	下田
滝澤 清志	58歳	叶里高畑
加瀬 雪子	59歳	天王
倉科由美子	52歳	天王